



2026年度

# 商工業振興に関する要望書



平素、苫小牧商工会議所の商工業振興への取組に関し、一方ならぬご指導、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

地元企業を取り巻く環境は、歴史的水準に達した円安や消費者物価・エネルギー価格の高騰の影響、深刻さを増す人手不足など、依然として厳しい状況にあります。しかしながら、半導体産業の発展やデータセンターの建設など明るいニュースもございます。その経済効果が苫小牧にもたらすものは計り知れません。

周辺地域の経済が活発化していくなかで、苫小牧の商工業振興が一層発展するために必要な事項を取りまとめましたので、令和8年度（2026年度）予算の編成に当たり、特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

2025年4月21日

苫小牧市長 金澤 俊 様

苫小牧商工会議所

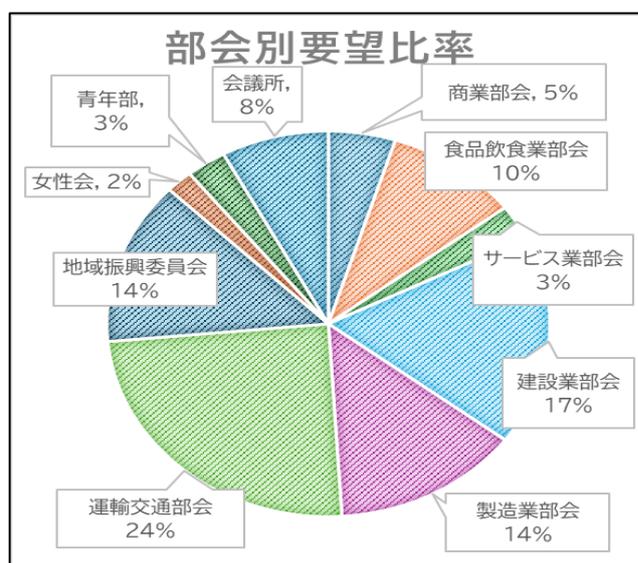
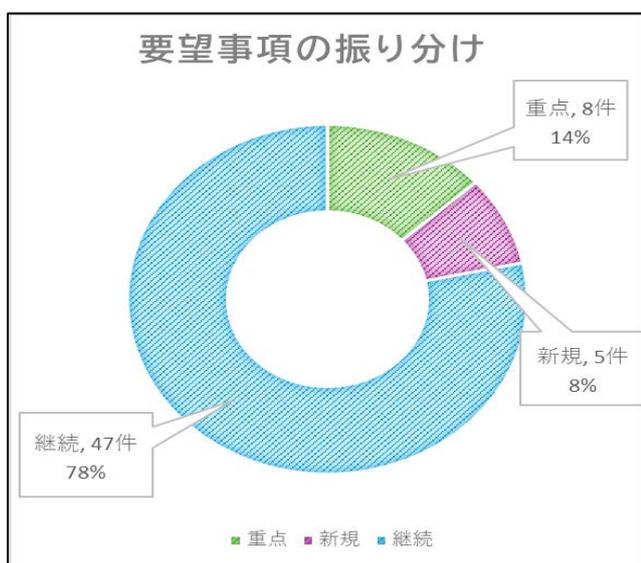
会頭 宮本 知治



# 2026年度商工業振興に関する要望書 目次

要望事項	関係機関			ページ
	国	北海道	苫小牧市	
2025年度 商工業振興に関する要望書の回答結果				1
<b>1 重点要望事項</b>				
(1) 多くの市民から歓迎される「苫小牧駅前再整備基本計画」の立案			○	2
(2) 物価上昇と採用難に対する支援施策の実施	○	○	○	3
(3) 利便性向上に向けた道路・鉄路整備等の推進	○	○	○	4
(4) 物流効率化に向けた港湾機能の強化・整備	○			5
(5) カーボンニュートラル社会実現に向けた取組の推進			○	6
(6) 次世代デジタル産業の一大集積地に向けた企業誘致の推進			○	7
(7) 北海道と連携した「統合型リゾート(IR)」誘致活動の推進	○	○	○	8
(8) 地元中小・小規模事業者を支援する商工会議所の人員体制強化	○	○	○	9
<b>2 新規要望事項</b>				
(1) 積極的な企業誘致取り組みを行うための環境整備			○	10
(2) スポーツ都市推進に向けた取組の実施			○	11
(3) 物流効率化に向けた道路・港湾インフラ等の整備	○		○	12
(4) 医療機関への交通利便性の向上	○		○	13
(5) 駅前本通街灯スピーカー再稼働のための支援			○	14
<b>3 継続要望事項</b>				
(1) 苫小牧を支える企業への支援策 (10件)	○	○	○	15
(2) まちづくり・防災対策 (8件)	○		○	16
(3) インフラの整備(道路・港湾・空港・鉄道・電力など) (24件)	○	○	○	17.18
(4) 雇用・人材育成 (3件)	○	○	○	19
(5) 交流人口の増加と観光振興 (2件)		○	○	20
4 参考資料				21
5 部会別索引				23

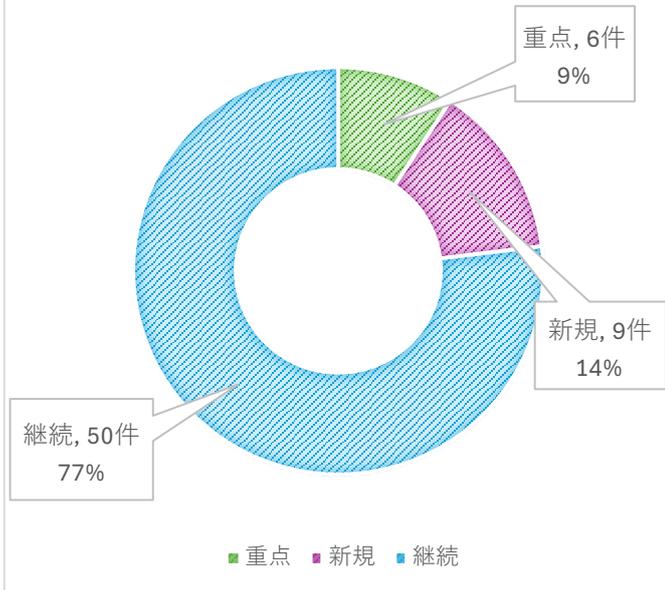
要望件数 合計60件[重点要望事項8件、新規要望事項5件、継続要望事項47件]



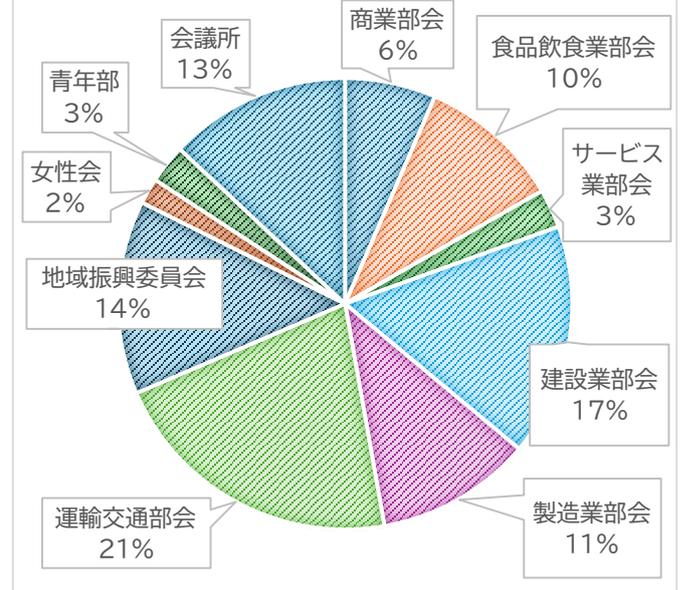
## 前年度の結果

# 2025年度 商工業振興に関する要望書の回答結果

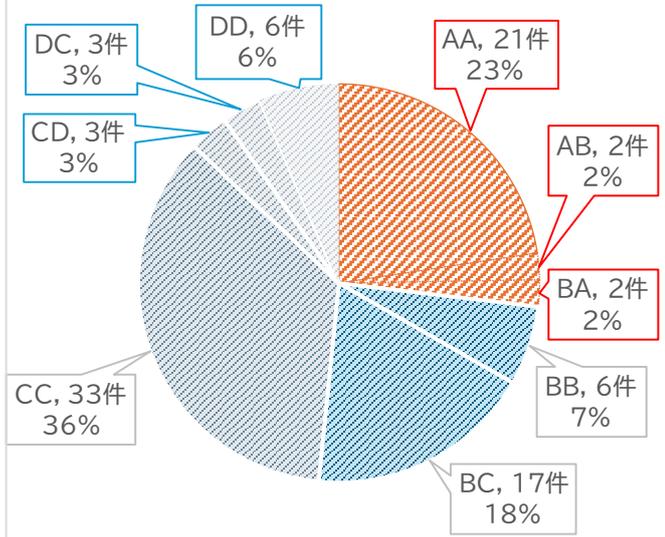
### 要望事項の振り分け



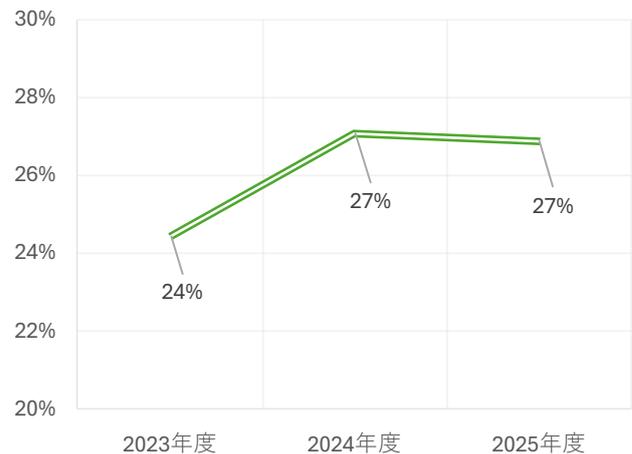
### 部会別要望比率



### 要望全体の回答実現性・実行速度



### Aを含む回答取得率 (年度別)



## 2025年度の要望件数は合計 65件

**[ 重点要望事項6件、新規要望事項9件、継続要望事項50件 ]**

要望に対する回答については早期の実行が見込めるAA,AB,BAの割合は27%を占め、問題の早期解決に期待できる。

一方Dを含む回答は全体の12%となり、引き続き要望が必要と考える。

## 1-(1) 多くの市民から歓迎される「苫小牧駅前再整備基本計画」の立案

## ●要望事項

- 1 都市再生コンセプトプランと駅周辺ビジョンの実現に向けた事業展開
- 2 スマートシティへの拡張性を考慮した駅周辺再整備の推進
- 3 ウォークアブルな街づくり推進のための一体的なインフラ整備
- 4 苫小牧駅前再整備基本計画策定にあたる市民・企業への積極的な情報発信

## ●目的と効果

## 《目的》

2014年の旧サンプラザビル閉鎖から10年ほどが経過しました。2021年3月に「苫小牧都市再生コンセプトプラン」が公表され、2023年3月に苫小牧駅周辺ビジョンが策定されるなど、次世代のまちづくりと未来の苫小牧駅周辺エリアの方向性が示されました。

また、2023年には苫小牧市スマートシティ構想がとりまとめられ、事業化に向けて進み出しています。今後パートナー事業者の選定、基本計画の策定と事業は進みますが、多くの市民から歓迎される計画となるよう、作成過程における積極的な情報発信を行う事で「誇りと愛着が持てるまち」への前進が加速します。

## 《効果》

駅周辺以外の施設計画と連携した再整備計画が策定されることで、相互に人の流れが生まれるなど相乗効果が見込まれ、また、デジタル技術で暮らしや経済活動の利便性が高まり、拠点としてのまちなか形成が推進されます。



閉鎖から10年余りが経過した旧サンプラザビル



苫小牧駅周辺ビジョンに基づく基本構想パース図

No.20001、23018、26005、26008

担当部会：商業部会、食品飲食業部会、建設業部会、地域振興委員会

## 1-(2) 物価上昇と採用難に対する支援施策の実施

## ●要望事項

- 1 苫小牧市プレミアム付商品券事業の継続的な実施
- 2 中途採用合同企業説明会の参加枠拡充
- 3 とまジョブの有効活用・周知推進

## ●目的と効果

## 《目的》

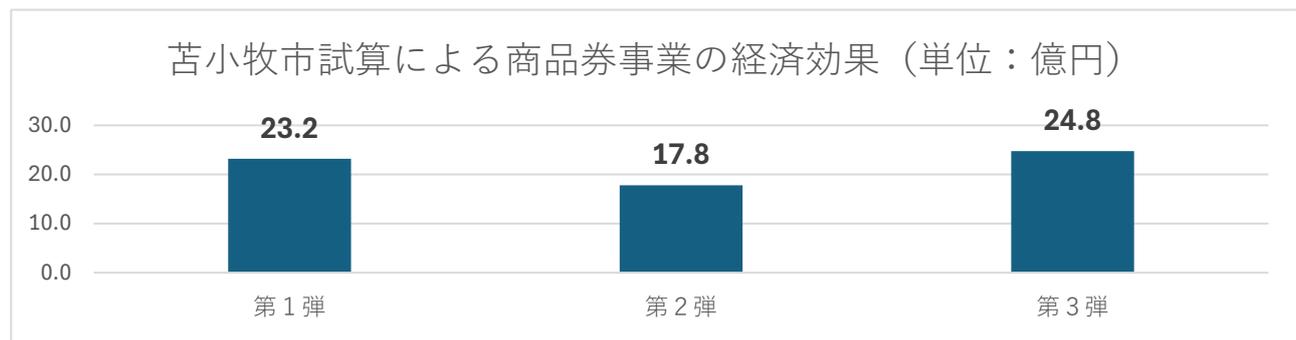
2020年より実施されたプレミアム付き商品券事業は苫小牧市における消費を活性化させ、地域経済に大きな追い風となりました。物価が高騰し消費マインドが減衰するなか、継続的な実施をお願いします。

業種規模を問わずあらゆる事業者において、人手不足は厳しい状況が続いています。特に地域経済や雇用を支える中小・小規模事業者に対する影響はより先鋭化しています。

苫小牧市が令和6年度に2回実施した中途採用合同就職説明会においても、多くの企業が参加を希望するなど好評であることから、より多くの企業が参加できるよう拡充を希望します。

## 《効果》

プレミアム付商品券事業の実施により、物価高による影響を強く受ける市民の生活にとって激変緩和になるだけでなく、地元を支える中小企業にとっても、心強い追い風となります。また中途採用の機会が増える事は、人材確保に悩む企業にとって支えとなります。



過去に実施された「苫小牧市プレミアム付商品券事業」の概要			
実施回	プレミアム率	利用期間	備考
第1弾	20%	2020年9月～翌2月	一般
	60%	2020年9月～翌2月	とまチケ
第2弾	20%	2021年6月～翌1月	一般
	60%	2021年6月～翌1月	とまチケ
第3弾	20%	2022年4月～翌1月	一般
	50%	2022年4月～翌1月	とまチケ

近年道内他都市で行われた商品券事業（実施予定を含む）			
都市	プレミアム率	利用期間	備考
美唄市	30%	2025年2月～8月	
室蘭市	20%	2025年4月～7月	
石狩市	30%	2025年6月～8月	
岩見沢市	15%	2024年4月～11月	建設券
札幌市	10%	2024年7月～12月	
帯広市	20%	2022年9月～12月	全店共通
帯広市	40%	2022年9月～12月	飲食店専用

## 1-(3) 利便性向上に向けた道路・鉄路整備等の推進

## ●要望事項

- 1 緑跨線橋と苫小牧中央インターチェンジの間に位置する高丘地区への4車線拡幅整備の推進（出口付近の4車線化早期整備）（P21 参考資料①）
- 2 市立病院前交差点の国道276号線（支笏湖通り）の3車線化または歩車分離式信号機の設置、周辺交差点の交通導線の整備（P21 参考資料②）
- 3 災害対応道路として、国道36号線と臨海北通の接続道路新設の検討（P21 参考資料③）
- 4 通行車両の安全確保のための鹿対策の実施
- 5 新千歳空港駅から苫小牧方面へのアクセス向上  
・JR新千歳空港駅と道南・道東方面の直通化（スルー化）の実現

## ●目的と効果

## ≪目的≫

- 1 2021年に開通した中央インターチェンジは、その高い利便性から交通量が増加しています。また、付近の沿道では土地利用規制が見直されるなど、今後更に交通量増加が予想されることから、緑跨線橋と苫小牧中央インターチェンジの間の高丘地区への4車線拡幅整備により、安全で円滑な交通が確保されます。
- 2 道道苫小牧環状線から国道276号線の緑跨線橋側への左折レーンは1車線しかなく、交差点付近は車線変更を行う車が混雑しています。歩車分離式信号の導入や、市立病院駐車場側への直進車線を左折も可能に変更するなどの対策を行うことで、混雑が解消・緩和され、自動車事故の減少や歩行者の安全が確保されます。また、混雑を避けるため、抜け道として指導が利用される状況も散見されており、周辺交差点の交通動線の整備が必要と考えます。
- 3 本市は、東西にかけて鉄路が走り、中野跨線橋から港跨線橋間の約4.2kmには鉄路をまたぐ方法がなく、いずれかの跨線橋に迂回して移動する必要があります。現在、海側には多くの製造業や物流関連企業が進出し、多数の従業員を抱え、さらに、臨海北通は交通量も多いことから、災害時における人と車両の鉄北方向への避難路を確保することにより地域の安全性が向上します。
- 4 近年、鹿の生息数の増加により鹿と車両の接触による交通事故が多発しております。特に勇払橋付近及び苫東地域の市道での出没が多く、また、街路灯の設置が少ないため、回避行動が遅れるといった意見を聞いております。鹿の捕獲活動や鹿対策の実施により、事故を未然に防ぎ安全の確保が期待されます。
- 5 2023年度の新千歳空港を利用した国内線の旅客数は2003万人で旅客数が2000万人を超えるのは1988年の開港以来初めてで、これまでで過去最多だった2018年度の1977万人を上回り、コロナ禍から回復傾向にあります。国際線においては今後の本格的なインバウンド回復や新幹線の開通や次世代半導体工場やデータセンター建設と関連投資や開発が進むなどの需要増加が考えられます。道南、道東方面との直通化は、人と物の輸送力強化と観光に資する効果を全道各地に波及させますので、実現に向け関係各所への訴えを強く継続していただきたい。

## ≪効果≫

円滑な交通、利便性向上及び災害時における安心安全の確保が期待できます。

No.20064、20115、20087、20118

担当部会：食品飲食業部会、製造業部会、建設業部会、運輸交通部会、地域振興委員会、会議所

## 1-(4) 物流効率化に向けた港湾機能の強化・整備

## ●要望事項

- 1 東港区機能進展のためのインフラ整備
  - ・上下水道設備の充実及び強化 (P22 参考資料④)
- 2 周文ふ頭を含む苫小牧港東港区浜厚真地区の早期整備 (P22 参考資料⑤)
- 3 西港区中央北1号岸壁のエプロン・荷捌き地の整備 (P22 参考資料⑥)

## ●目的と効果

## 《目的》

- 1 東港区を含む安平川から東側のエリアは苫小牧市の給水区域に入っておらず、胆振東部地震の際には、断水復旧までに約1ヶ月の期間を要するなど、復旧を市が主導できない状況となりました。東港区のインフラ整備を行うことで、災害時の対応能力強化と物流機能維持が図られます。  
また2020年6月から大型冷蔵冷凍倉庫が稼働し、同倉庫と連携した食関連事業の集積が期待されるなか、企業の進出を後押しし、付加価値の高い物流拠点形成の促進が期待されます。
- 2、3 公共埠頭では混雑が恒常化し、船舶の滞船や不必要な横持ち\*が生じるなど、非効率な荷役を強いられており、北海道胆振東部地震においても、災害支援船が利用岸壁の変更や移動を余儀なくされるなど、岸壁の不足が深刻な状況となっております。  
大規模自然災害等に備えた耐震・防災機能強化と荷役作業の効率化により、船舶の混雑・停船の緩和が図られ、物流コストの削減や港湾労働者の労働生産性向上、地域産業の競争力強化に繋がります。

## 《効果》

物流の効率化と苫小牧港区の更なる発展が期待できます。

## ※横持ちとは

- ・特定の場所に置かれた貨物を別の場所などに移動すること。
- ・混雑により、荷役事業者が希望するふ頭を利用できないケースが発生しており、離れたふ頭を利用しなければならず、目的地まで陸路での輸送を余儀なくされている。

## 1-(5) カーボンニュートラル社会実現に向けた取組の推進

## ●要望事項

- 1 カーボンニュートラル社会実現に向けた、一般市民や学生も対象にした理解向上に繋がる取組の推進
- 2 カーボンニュートラルに取り組む企業を後押しする支援窓口の設置
- 3 小規模レベルの再生可能エネルギーによるグリーン水素製造装置を配備
- 4 グリーン水素社会に呼応すべく水素ステーションを早急に市内に1か所新設
- 5 新たな公共交通機関として市営バスへのF C V導入
- 6 公用車のF C V化
- 7 民間投資を促進するF C Vトラック・F C Vフォークリフト等の導入補助制度の創設
- 8 エネルギーの安定供給確保に係る事業者への補助制度の継続
- 9 苫小牧の地域特性を生かした次世代エネルギー発電施設等の整備並びに送電網に係る事業者への補助制度の創設
- 10 脱炭素及び新産業創出のために欠くことのできない泊原発の早期再稼働の実現

## ●目的と効果

## 《目的》

苫小牧市は北海道の産業、物流の拠点であり、製油所や天然ガス、発電所、備蓄基地を有するなど、再生可能エネルギーを含めたエネルギーの宝庫であります。また、再生可能エネルギーや水素を製造できる地域は道内各地にありますが、地域で消費できる適地はそう多くないため、再生可能エネルギーや水素の地産地消ができる、北海道随一の産業都市であると考えています。

苫小牧市第4次環境基本計画～第1期ゼロカーボン推進計画～において「産業全体でのゼロカーボンを目指し、環境と経済の好循環を実現」を目標に掲げており、カーボンニュートラル社会の早期実現が求められています。ついては、北海道における「産業・物流の重要拠点」である苫小牧市が、カーボンニュートラル社会の実現に向けて、「脱炭素先行地域」として自覚を持った積極的な取組みを進めることが重要であります。さらに関連企業・研究所・実証実験等の誘致と地元企業の参入を進める必要があります。

以上のことから、上記事項について施策を推進するよう強く要望します。

## 《効果》

2050年脱炭素社会の実現に向けた取組みが加速し、脱炭素の取組みを通じた産業誘致や企業間の連携、先進的なモデル地域となり、地域価値の向上、地方創生を実現します。

## 1-(6) 次世代デジタル産業の一大集積地に向けた企業誘致の推進

## ●要望事項

北海道、特に石狩から札幌・千歳・苫小牧にかけてのエリアが中心となり、次世代デジタル産業の一大集積地となるべく、苫小牧市の役割、機能、立地のそれぞれを最大限有効活用できる未来を模索し、関連施設及び産業誘致に向けて主体的に発信することを強く要望

## ●目的と効果

## 《目的》

当市や近郊地域において、次世代半導体工場やデータセンターの建設が進んでおり、北海道の提唱する次世代のデジタルインフラ集積を目指す「北海道データセンターパーク」や次世代半導体工場が提唱する「北海道バレー構想」の実現に向けた関連投資や開発が着々と進んでいるかと思えます。その中で、苫小牧市としての役割や立場を効果的に発信し、産業誘致に向けて、主体的に動いていただきたい。

## 《効果》

高付加価値の半導体やデータセンターなど IT（情報技術）関連企業の集積が進み、研究や人材育成が一体となった複合拠点が実現するなど、多様で革新的なデジタル関連産業の集積が進みます。幅広い産業の生産性の向上や高付加価値化、デジタルの活用による少子高齢化や担い手不足といった社会課題の解決に繋がるなど、当市が北海道・日本を牽引する地域になります。

## 1-(7) 北海道と連携した「統合型リゾート(IR)」誘致活動の推進

## ●要望事項

- 1 「統合型リゾート(IR)」誘致活動の継続
- 2 北海道らしい IR コンセプトの策定

## ●目的と効果

## 《目的》

人口減少と少子高齢化が進展するなか、北海道全体が持続可能な発展を続けていくためには、国が推し進める「統合型リゾート(IR)」の誘致を通じた、地域開発が欠かせません。

北海道は「自然・文化・気候・食」という観光振興に必要な条件を備えた世界的にもまれな地域の一つであり、多様な観光資源を有しています。

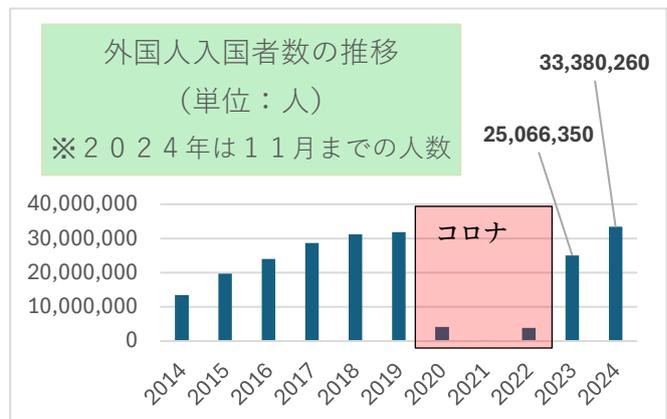
また、苫小牧地域には北海道の玄関口である新千歳国際空港が隣接し、物流の拠点である苫小牧港を有するダブルポート地域でもあることから、このような恵まれた環境のなか、千歳地域には次世代半導体工場が進出するなど、新たな要素が加わり、様々な可能性があふれています。国への申請に手続きにあわせ、多様な可能性を活かす北海道らしい IR コンセプトの早期策定が必要だと考えます。

## 《効果》

「統合型リゾート(IR)」誘致を実現することで、苫小牧地域だけでなく、北海道全域に「統合型リゾート(IR)」を起点とした交流人口の還流に加え、投資、税収の面からも閉塞した北海道経済を打破し、未来を切り開くことができます。

北海道へのIR誘致後の経済効果	
IRの年間利用	訪問者860万人、 総売上高1,560億円
年間税収効果	最大234億円
開業時の投資額	2,800億~3,800億円
新規雇用創出	21,000人

※平成30年の北海道による試算  
北海道ホームページより



日本政府観光局(JNTO) 日本の観光統計データより

1-（8） 地元中小・小規模事業者を支援する商工会議所の人員体制強化

● 要望事項

- 1 【国・道】 小規模事業指導推進補助金の安定確保
- 2 【国・道】 小規模事業指導推進補助金・補助対象職員設置基準の見直し
- 3 【苫小牧市】 上記1、2について「国・道及び関係機関に対する重点要望事項」への採用
- 4 【苫小牧市】 苫小牧中小企業相談所補助金の増額

● 目的と効果

《 目的 》

近年、中小・小規模企業が直面する経営課題は、多様化・複雑化する傾向にあり、国・地方自治体においてもそれら政策課題に対応すべく、施策の高度化・複雑化が進んでいます。

商工会議所は地元企業との接点として、国・地方自治体の政策実行を助け政策効果を高めるべく、連携・連動した企業支援の担い手として多くの役割を果たしていますが、役割を担保する商工会議所の人員体制については顧みられることはなく、自助努力による維持存続を求められ続けています。

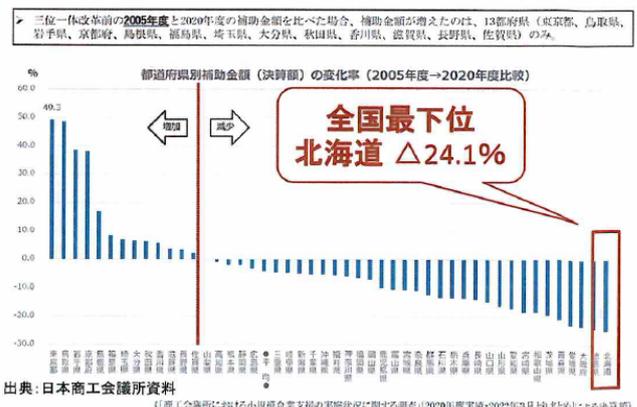
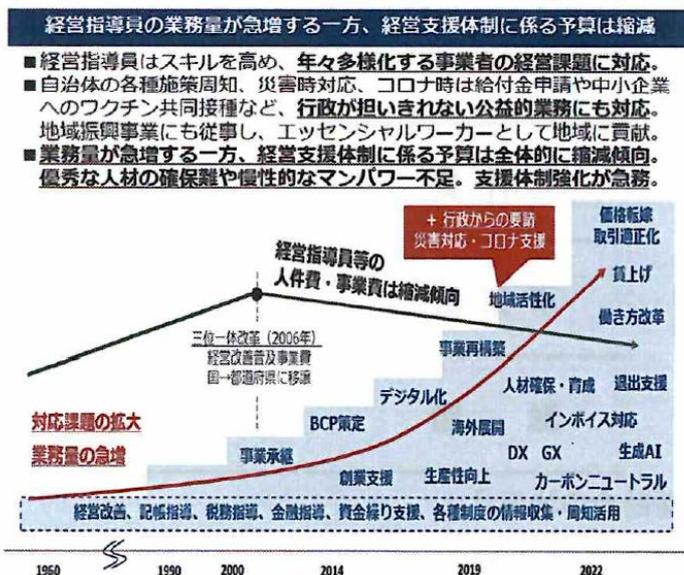
雇用の大半を抱える地元中小・小規模事業者が新しい時代へ適応し、自己変革に取り組むためには、そのために活動する商工会議所の人員体制の維持・強化が欠かせません。

《 効果 》

地元企業を支える商工会議所の人員体制維持・強化は、挑戦する余力生み出し、変革を遂げようとする中小・小規模事業者を支えると共に、国・道・市の政策実行を助け、政策効果を高めます。

【 北海道 】  
補助金額の変化率

- ・三位一体改革前の2005年度と2020年度を比べた場合、補助金が増えたのは13都府県
- ・北海道は、全国最下位のマイナス24.1%
- 全国的には、増加傾向にあるものの、北海道は全国でも低位が続く



## 2-(1) 積極的な企業誘致取り組みを行うための環境整備

## ●要望事項

- 1 積極的な企業誘致活動を行うための各種環境整備
- 2 企業誘致に伴う、工業用水の安定供給の整備

## ●目的と効果

## 《目的》

- 1 苫東工業基地は、苫小牧市、厚真町、安平町の1市2町にまたがる日本最大の産業地域であり、様々な企業の進出が加速しています。

進出企業にとって従業員確保の観点から、住環境の充実度、円滑な通勤のための交通インフラの整備状況も進出判断に影響するものと思われます。

企業進出に伴い住民が増えることは、苫小牧市ばかりではなく隣接町にとっても恩恵となります。苫東工業基地に隣接しているという地域の強みを最大限活かすことができるよう、広域で連携、協調して企業誘致やインフラ整備に取り組める体制構築をお願いします。

また、企業誘致への取組が加速し進出企業が増加することにより、過度な人材流出が起きないように、既進出企業・地場企業に対する人材定着支援を併せてお願いします。

- 2 次世代半導体工場や、データセンターなど、企業進出が進んでいます。今後も企業の進出を逃さないためには、工場に必要なインフラである工業用水の確保は必要不可欠で、工業用水の供給可能量不足は、今後の企業進出の可能性を閉ざしかねないものと考えますので、安定供給に向けたインフラ整備をお願いします。

## 《効果》

**広域で連携のとれた企業誘致**への取組は、住環境の整備や交通インフラの整備の拡充、人材確保に関する支援、工業用水の安定確保を加速させ、全国的な企業誘致競争における苫東地区の強力な優位性となります。



厚真町 HP より 苫東地区を囲む自治体の行政区域

## 2-(2) スポーツ都市推進に向けた取組の実施

## ●要望事項

北海道日本ハムファイターズ二軍本拠地の誘致

## ●目的と効果

## 《目的》

2024年7月、北海道日本ハムファイターズ二軍施設を千葉県鎌ヶ谷市から道内に移転する構想があることが報道され、苫小牧が候補地の1つにあげられていました。球団側は公設民営型の施設を想定しているとも報じられ、自治体側の対応姿勢も焦点になっております。こうした構想が本格的に調査・検討が開始となり具体化される前から、球団側に苫小牧市が歓迎し協力する姿勢をしめし、熱意と関心があることを伝える活動や取り組みを行うことが重要であると考えます。

苫小牧市は積雪も少なく、施設誘致をすすめるのに有利な条件となっており、スポーツ都市として、北海道日本ハムファイターズ二軍誘致を他市に負けないよう積極的に働きかけていきたい。

## 《効果》

プロ野球二軍チーム本拠地を誘致することにより、地域の知名度があがり、試合やイベントが開催されることで市外より観客が訪れ交流人口が増加し、地域の飲食店や宿泊施設利用者が増え、新たな雇用機会創出による地域経済の活性化や空港からのアクセス向上など交通の利便性向上も見込まれます。また、スポーツ都市として、地元の子どもたちや若者がプロの選手と触れ合う機会が増えることによりスポーツへの関心がより高まります。



※F VILLAGE 公式 HP より

## 2-(3) 物流効率化に向けた道路・港湾インフラ等の整備

## ●要望事項

- 1 国道 36 号線 東インターチェンジへの交差点付近の混雑緩和に向けた調査・対策の実施
- 2 東西港区周辺の公共用トイレの新設・整備

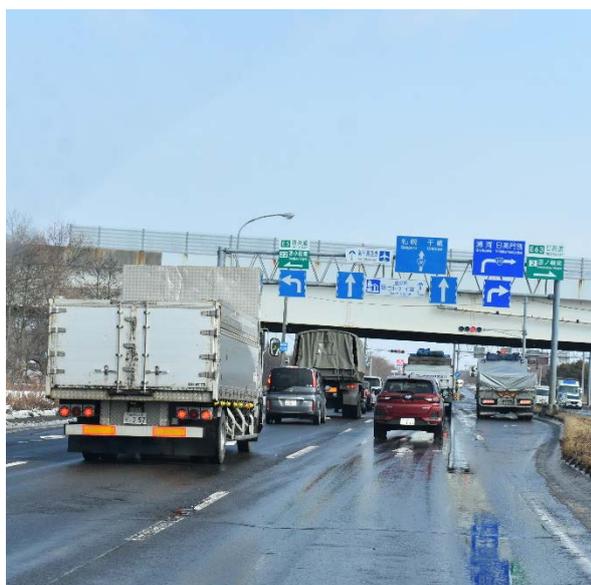
## ●目的と効果

## 《目的》

- 1 東インターチェンジへ向かう交差点（植苗高架橋付近）は朝夕に交通量が増加し通行に時間を要する状態であり、混雑が慢性化しております。今後は千歳地区での工場建設・稼働に伴い、より多くの車両が往来することが予測されるため、スムーズな通行ができるように調査・対策の実施を要望します。
- 2 中央北埠頭の女性用トイレの設置は完了したものの、他の場所では女性用トイレの建設がまだまだ進んでいません。港湾作業に従事する女性も増えつつあることから女性用トイレの設置を希望します。また、現在設置されているトイレも老朽化が進んでいるため埠頭・荷捌き地にあります公共トイレの整備の推進を要望いたします。

## 《効果》

- 1 苫小牧⇄千歳・札幌方面のアクセスの向上。交通網の確保。今後の千歳地区での工場稼働に伴う交通量増加に対応。
- 2 港湾作業従事者の労働環境の向上。



※東インターチェンジ付近交差点



※中央北埠頭 6 号公衆便所

## 2-(4) 医療機関への交通利便性の向上

## ●要望事項

安心して暮らせるまちづくりのための医療機関への交通利便性の向上

## ●目的と効果

## 《目的》

現在、苫小牧市の新生児の出生率の低下は昨年1000人を下回り、人口は2040年に145千人、2060年には125千人まで減少する見込みであり、人口の減少は商工業、各分野にも大きな打撃となります。こうした状況には現役の労働者世代が安心して働き、子育てに集中できるまちづくりが必要であると考えます。

一方で苫小牧市においても高齢化は進んでおり、親の介護など現役世代に係る負担は増大しています。特に高齢者の通院に係る不足が深刻であり、要介護ではない高齢者であっても病院への送迎を子に頼るといった状況が多くみられます。

今後益々進むと予測される公共バスの減便、予約が困難なタクシー、救急搬送後の帰宅のための介護タクシー不足などの現状から、市営バスのダイヤ見直しやデマンドバス運用の可能性検討、自動運転バスの本格化など、医療機関への交通アクセスを向上させ、高齢者が継続的に医療をうけられ、現役世代が安心して働き暮らせる環境づくりを要望いたします。

## 《効果》

様々な交通機関の利便性を向上し、高齢者の不足を解消することで誰もが安心して暮らせる環境づくりに期待できます。

**実証運行開始!** **運賃無料**

## きよっちメディカルバス

運行期間 **R6年8月21日~R7年1月31日** (平日のみ)

運行時間 **9:00~12:00、13:00~15:00**

**清田区内の病院間を結ぶ  
乗合バスを運行します**

(対象病院)  
 ・札幌美しが丘脳神経外科病院  
 ・札幌整形循環器病院  
 ・札幌清田整形外科病院  
 ・札幌清田病院  
 ・真栄病院  
 ・北野病院  
 ・美しが丘病院

きよっちメディカルバスは、既定の経路や時刻表がないデマンドバスです。事前に登録された方がスマホで予約すると、AIが最適なルートを開き出し、乗合バスによって清田区内の病院間を送迎します。

**ご利用対象者**  
 上記の対象病院への通院・入院患者様、ご家族など  
注：介助を必要とする方はご利用できません。また、乗り合いバスのため風邪症状等がある方はご利用できません。ご了承ください。

**お問い合わせ・乗車・予約方法**  
 対象病院の受付へお問い合わせください。

※札幌市でのデマンドバス実証事業

## 2-(5) 駅前本通街灯スピーカー再稼働のための支援

## ●要望事項

駅前本通り街灯スピーカー再稼働のための費用支援と運営事業者の募集

## ●目的と効果

## 《目的》

駅前本通りには街灯スピーカーが設置されていますが、活用されることなく放置されています。この設備を稼働できるよう再整備を行い活用することで、街のにぎわい創出や災害時の情報提供など、あらたな取組を行うことができるようになり、商店街のにぎわい創出、イベント時の活用、災害時における防災情報の発信など、様々な用途に活用できるようになります。駅前再開発に併せ、設備整備と運営を行う事業者を募集することで、都市再生コンセプトプランが目指す「ウォークアブルなまちづくり」を推進します。

## 《効果》

BGM や各種放送などを街灯スピーカーにて行う事で、商店街のにぎわい創出や防犯に効果があると考えられます。また祭りやミライフスなどのイベント時の利活用や、放送設備を活用した新たな取組の考案など、駅前本通りのみならず、中心市街地の活性化に期待します。災害時には情報発信を速やかに行うことで災害に強いまちづくりに寄与します。



※駅前本通り 現在は使用されていないスピーカー



## 3-(1) 苫小牧を支える企業への支援策

## ●要望事項

No.	要望項目	会議所担当	回答/ 実現性	回答/ 速度
20033	公共事業予算枠確保	建設業部会	A	A
20034	各種公共工事の早期発注並びに施工時期の平準化	建設業部会	A	A
20035	働き方改革や経済状況に対応した公共事業発注の推進と物価変動に対応した発注金額の適正化	建設業部会	A	A
20036	地元企業への優先発注並びに地元受注率の向上	建設業部会	A	A
20038	指定管理者に対する地場活用の推進	製造業部会	A	A
20043	日本政策金融公庫苫小牧出張所の支店昇格	会議所	B	A
20046	苫小牧市中小企業創業サポート事業への取り組み継続	会議所	A	B
20084	北海道開発にかかる枠組みの堅持	建設業部会	A	A
23008	地産地消に取り組む事業者への支援	食品飲食業部会	D	D
25001	市内空き店舗情報の積極的な発信	商業部会	A	B

## ●目的と効果

苫小牧地域を支える企業への各種支援策により、持続的に発展できる環境の維持、整備が可能となり、急激な外部環境の変化に対応するための素地が維持されます。

## 3-(2) まちづくり・防災対策

## ●要望事項

No.	要望項目	会議所担当	回答/ 実現性	回答/ 速度
20050	商店街・町内会の街路灯・防犯灯入れ替えに伴う補助金の補助率の上昇	商業部会	A	B
20055	勇払前浜広場の整備活用	地域振興委員会	B	B
21012	定住者増加のための大企業、IT企業などのサテライトオフィス及び教育機関の誘致と移住の促進	食品飲食業部会	C	C
21013	定住者増加のためのワーケーションを契機とした移住者の獲得	食品飲食業部会	B	B
23014	津波浸水想定に基づく津波対策の強化(津波危険区域に防潮堤や避難施設等の設置)	地域振興委員会	B	C
23017	苫小牧市におけるふるさと納税返礼品の拡充	青年部	A	A
25002	夜間における交通利便性の確保 繁華街における交通手段確保への支援	食品飲食業部会	C	C
25004	広域連携(周辺自治体、民間企業・団体、自衛隊)による災害等対策体制の構築及び訓練の実施	建設業部会/地域振興委員会	A	A

## ●目的と効果

生活基盤を支える商店街やコミュニティの維持・存続に関する支援体制の拡充、強化により、持続可能で、災害に強く、東西バランスを考慮したまちづくりの推進が期待できます。

## 3-(3) インフラの整備（道路・港湾・空港・鉄道・電力など）

## ●要望事項

No.	要望項目	会議所担当	回答/ 実現性	回答/ 速度
20010	車両通行量が多い跨線橋(緑・中野・港)・踏切の冬期間における交通安全対策(ロードヒーティング敷設、すべり止め舗装等)の実施・物流機能維持のための除雪体制の強化	運輸交通部会	B	C
20011	北海道運輸局室蘭運輸支局の苫小牧への移設	運輸交通部会	B	C
20057	苫小牧停車場若草道線の一方通行の解除に向けた働きかけの推進	運輸交通部会	B	B
20058	苫小牧登別通(仮称)の道道昇格と接続整備	運輸交通部会/ 建設業部会/ サービス業部会	B	C
20059	美沢錦岡通の早期整備	建設業部会/ 運輸交通部会	B	C
20060	臨海東通の早期整備	建設業部会/ 運輸交通部会	B	C
20062	市道東部1条通の道道上厚真苫小牧線への接続	建設業部会/ 運輸交通部会	C	C
20069	新千歳空港の発着枠拡大に対応した受入体制の強化並びに利便性の向上(2次交通アクセスの充実)	建設業部会/ 地域振興委員会	B	C
20070	新千歳空港の滑走路延長の早期実現	地域振興委員会	B	C
20075	苫小牧東部地域の特性を活かし、苫東GXHUB構想の実現にむけ、「エネルギー・デジタル・フード」を柱とした多彩な産業・プロジェクト誘致への支援 (エネルギー・デジタル・フード・物流・ドローン・自動走行関連事業、地域マイクログリッド事業、CCUS事業)	地域振興委員会	C	C
20077	苫小牧東部地域における食品流通・加工拠点形成への支援	地域振興委員会	C	C
20088	函館税関コンテナ検査施設(X線検査場)の東港区での早期設置	運輸交通部会	C	C
20091	東港区・西港区のうねり対策に関する関係機関への要請の強化	運輸交通部会	C	C
20093	苫小牧港の地理的優位性を生かした北極海航路の誘致	運輸交通部会	C	C
20094	市道東部南通線の路肩を含めた道路整備(高潮による通行止めの際の整備)	建設業部会/運輸交通部会	B	C

No.	要望項目	会議所担当	回答/ 実現性	回答/ 速度
20095	勇払橋の重量規制緩和に向けた安平川改修計画の早期策定(河口部)	建設業部会/運輸交通部会	B	C
20113	様々な国際大会の開催を視野に入れたアイスアリーナや体育館等のスポーツ施設の国際規格化および周辺環境整備	建設業部会	B	C
20121	明野南通の6車線化及び、道路の整備	運輸交通部会	C	C
22004	国道36号線 苫小牧錦岡～白老社台間の中央分離帯設置	運輸交通部会	C	C
23010	物流車両の安全確保のための整備 市道の管理強化 街路灯の増設(一本松北通)、道路標識の整備、新規設置、街路樹や草木の剪定・伐採	運輸交通部会	A(緑地、維持) C(港湾)	A(緑地、維持) D(港湾)
23013	市道沼ノ端勇払線の安全対策の実施 1. 拡幅整備 2. 路面舗装整備	地域振興委員会	B	C
25005	東西バランスのとれた発展のための交通施策の検討 ・東部－中心部－西部間の交通機関アクセス向上 ・ワーケーション等滞在者の市内観光誘導のための交通利便性向上	サービス業部会	C	C
25007	市道柏原開拓道1号線および東部2条通の安全対策の実施 1. 路面舗装整備 2. 拡幅整備(片側2車線化) 3. 電柱移設(照明灯設置)もしくは街路灯設置	地域振興委員会	C	C
25010	新千歳空港と苫小牧市内を結ぶ道道130号新千歳空港線及び国道36号線の道路整備	地域振興委員会	C	C

## ●目的と効果

市や関係機関への働きかけを強化することにより、インフラ整備が促進されます。

## 3-(4) 雇用・人材育成

## ●要望事項

No.	要望項目	会議所担当	回答/ 実現性	回答/ 速度
20004	職業訓練法人苫小牧地方職業能力開発協会への協力支援	運輸交通部会	B	B
20012	介護・保育をはじめとするサービス業並びに飲食業に係る人材教育の充実 飲食業や一次産業に係る専門教育支援の充実	食品飲食業部会	A(子ども) D(農水商業)	A(子ども) D(農水商業)
23015	保育・介護環境整備による女性の社会進出推進 介護・保育に関する人材教育支援制度の充実	女性会	C(福祉) A(子ども育成)	C(福祉) A(子ども育成)

## ●目的と効果

生産人口の減少により、深刻な人材不足が喫緊の課題であり、雇用の安定・拡大、地元人材の育成・確保、地元人材育成に必要な施設の維持などが強く求められることから、各種施策の推進により、多様な人材確保と育成ができる環境整備が可能となります。

## 3-(5) 交流人口の増加と観光振興

## ●要望事項

No.	要望項目	会議所担当	回答/ 実現性	回答/ 速度
20105	地産地消の推進にかかる事業への支援	食品飲食業部会	A	A
23019	市内大規模イベント運営の全面的な民間委託の調査 検討	会議所	C	C

## ●目的と効果

自然・食・文化・産業などの地域資源を活かし、各種施設の有効活用、新たな観光ルートの発掘と発信、統合型リゾート誘致などの取組により、誘客促進と交流人口増加が期待できます。

## 4 参考資料

### P4 参考資料① 参考資料②

#### 1 重点要望事項(3) 利便性向上に向けた道路整備等の推進

##### 1 高丘地区への4車線拡幅整備



##### 2 国道276号線の3車線化



### P4 参考資料③

#### 1 重点要望事項(3) 利便性向上に向けた道路整備等の推進

##### 3 臨海北通接続道路新設



P5 参考資料④ 1 重点要望事項(4) 物流効率化に向けた港湾機能の強化・整備

1 上下水道設備の充実及び強化 (苫小牧市新水道ビジョン：給水地図)



P5 参考資料⑤ 1 重点要望事項(4) 物流効率化に向けた港湾機能の強化・整備

2 周文ふ頭岸壁の早期整備



P5 参考資料⑥ 1 重点要望事項(4) 物流効率化に向けた港湾機能の強化・整備

3 西港区中央北1号岸壁のエプロン・荷捌き地の整備



## 5 部会別索引

担当部会	分類	No.	要望項目	回答/ 実現性	回答/ 速度	ページ
商業部会	重点	23018	スマートシティへの拡張性を考慮した駅周辺再整備の推進	C	C	2
	重点	22002	苫小牧市プレミアム付商品券事業の継続的な実施	A	A	3
	新規	26008	苫小牧駅前再整備基本計画策定にあたる市民・企業への積極的な情報発信			2
	継続	25001	市内空き店舗情報の積極的な発信	C	D	15
	継続	20050	商店街・町内会の街路灯・防犯灯入れ替えに伴う補助金の補助率の上昇	A	B	16
食品飲食 業部会	重点	23018	スマートシティへの拡張性を考慮した駅周辺再整備の推進	C	C	2
	重点	22002	苫小牧市プレミアム付商品券事業の継続的な実施	A	A	3
	重点	20118	新千歳空港駅から苫小牧方面へのアクセス向上 ・JR新千歳空港駅と道南・道東方面の直通化(スルー化)の実現	B	C	4
	新規	26008	苫小牧駅前再整備基本計画策定にあたる市民・企業への積極的な情報発信			2
	継続	23008	地産地消に取り組む事業者への支援	D	D	15
	継続	21012	定住者増加のための大企業、IT企業などのサテライトオフィス及び教育機関の誘致と移住の促進	C	C	16
	継続	21013	定住者増加のためのワーケーションを契機とした移住者の獲得	B	B	16
	継続	25002	夜間における交通利便性の確保 繁華街における交通手段確保への支援	C	C	16
	継続	20012	介護・保育をはじめとするサービス業並びに飲食業に係る人材教育の充実 飲食業や一次産業に係る専門教育支援の充実	A(子ども) D(農水、商 業)	A(子ども) D(農水、商 業)	19
継続	20105	地産地消の推進にかかる事業への支援	A	A	20	
製造業 部会	重点	20087	通行車両の安全確保のための鹿対策の実施	B	C	4
	重点	21017	カーボンニュートラル社会実現に向けた、一般市民や学生も対象にした理解向上に繋がる取組の推進	A	A	6
	重点	21017	カーボンニュートラルに取り組む企業を後押しする支援窓口の設置	C	C	6
	重点	21017	小規模レベルの再生可能エネルギーによるグリーン水素製造装置を配備	C	C	6
	重点	21017	グリーン水素社会に呼応すべく水素ステーションを早急に市内に1か所新設	C	C	6
	重点	21017	新たな公共交通機関として市営バスへのFCV導入	C	C	6
	重点	21017	公用車のFCV化	C	C	6
	重点	21017	民間投資を促進するFCVトラック・FCVフォークリフト等の導入補助制度の創設	D	D	6
	重点	21017	エネルギーの安定供給確保に係る事業者への補助制度の継続	B	B	6
	重点	21017	苫小牧の地域特性を生かした次世代エネルギー発電施設等の整備並びに送電網に係る事業者への補助制度の創設	C	C	6
	重点	21017	脱炭素及び新産業創出のために欠くことのできない泊原発の早期再稼働の実現	C	C	6
	重点	25003	次世代デジタル産業の一大集積地に向けた企業誘致の推進	B	B	7
	新規	26001	積極的な企業誘致取り組みを行うための環境整備 1 積極的な企業誘致活動を行うための各種環境整備 2 企業誘致に伴う、工業用水の安定供給の整備			10
	継続	20038	指定管理者に対する地場活用の推進	A	A	15
建設業 部会	重点	23018	スマートシティへの拡張性を考慮した駅周辺再整備の推進	C	C	2
	重点	20024	中途採用合同企業説明会の参加枠拡充	A	A	3

※建設業部会 次ページに続く

担当部会	分類	No.	要望項目	回答/ 実現性	回答/ 速度	ページ
建設業 部会	重点	20024	とまジョブの有効活用・周知推進	A	A	3
	重点	20118	新千歳空港駅から苫小牧方面へのアクセス向上 ・IR新千歳空港駅と道南・道東方面の直通化(スルー化)の実現	B	C	4
	重点	21008	周文ふ頭を含む苫小牧港東港区浜厚真地区の早期整備	C	C	5
	継続	20036	地元企業への優先発注並びに地元受注率の向上	A	A	15
	継続	20034	各種公共工事の早期発注並びに施工時期の平準化	A	A	15
	継続	20035	働き方改革や経済状況に対応した公共事業発注の推進と物価変動に対応 した発注金額の適正化	A	A	15
	継続	20084	北海道開発にかかる枠組みの堅持	A	A	15
	継続	25004	広域連携(周辺自治体、民間企業・団体、自衛隊)による災害等対策体制の 構築及び訓練の実施	A	A	16
	継続	20058	苫小牧登別通(仮称)の道道昇格と接続整備	B	C	17
	継続	20059	美沢錦岡通の早期整備	B	C	17
	継続	20060	臨海東通の早期整備	B	C	17
	継続	20062	市道東部1条通の道道上厚真苫小牧線への接続	C	C	17
	継続	20094	市道東部南通線の路肩を含めた道路整備(高潮による通行止めの際の整 備)	B	C	17
	継続	20095	勇払橋の重量規制緩和に向けた安平川改修計画の早期策定(河口部)	B	C	18
	継続	20113	様々な国際大会の開催を視野に入れたアイスアリーナや体育館等のスポー ツ施設の国際規格化および周辺の環境整備	B	C	18
サービ ス 業部会	新規	26002	北海道日本ハムファイターズ二軍本拠地の誘致			11
	継続	20058	苫小牧登別通(仮称)の道道昇格と接続整備	B	C	17
	継続	25006	東西バランスのとれた発展のための交通施策の検討 ・東部ー中心部ー西部間の交通機関アクセス向上 ・ワーケーション等滞在者の市内観光誘導のための交通便利性向上	C	C	18
運輸交通 部会	重点	20064	緑跨線橋と苫小牧中央インターチェンジの間に位置する高丘地区への4車 線拡幅整備の推進(出口付近の4車線化早期整備)	B	C	4
	重点	20064	市立病院前交差点の国道276号線(支笏湖通り)の3車線化または歩車分 離式信号機の設置、周辺交差点の交通導線の整備	C	C	4
	重点	20115	災害対応道路として、国道36号線と臨海北通の接続道路新設の検討	D	C	4
	重点	20087	通行車両の安全確保のための鹿対策の実施	B	C	4
	重点	20086	東港区機能進展のためのインフラ整備 ・上下水道設備の充実及び強化	D	D	5
	重点	21008	周文ふ頭を含む苫小牧港東港区浜厚真地区の早期整備	C	C	5
	重点	20092	西港区中央北1号岸壁のエプロン・荷捌き地の整備	C	C	5
	新規	26003	国道36号線 東インターチェンジへの交差点付近の混雑緩和に向けた調 査・対策の実施			12
	新規	26004	東西港区周辺の公共用トイレの新設・整備			12
	継続	20010	車両通行量が多い跨線橋(緑・中野・港)・踏切の冬期間における交通安全 対策(ロードヒーティング敷設、すべり止め舗装等)の実施・物流機能維持の ための除雪体制の強化	B	C	17
	継続	20011	北海道運輸局室蘭運輸支局の苫小牧への移設	B	C	17
	継続	20057	苫小牧停車場若草道線の一方通行の解除に向けた働きかけの推進	B	B	17
	継続	20058	苫小牧登別通(仮称)の道道昇格と接続整備	B	C	17
	継続	20059	美沢錦岡通の早期整備	B	C	17
継続	20060	臨海東通の早期整備	B	C	17	

※運輸交通業部会 次ページに続く

担当部会	分類	No.	要望項目	回答/ 実現性	回答/ 速度	ページ
運輸交通 部会	継続	20062	市道東部1条通の道道上厚真苫小牧線への接続	C	C	17
	継続	20088	函館税関コンテナ検査施設(X線検査場)の東港区での早期設置	C	C	17
	継続	20091	東港区・西港区のうねり対策に関する関係機関への要請の強化	C	C	17
	継続	20093	苫小牧港の地理的優位性を生かした北極海航路の誘致	C	C	17
	継続	20094	市道東部南通線の路肩を含めた道路整備(高潮による通行止めの際の整備)	B	C	17
	継続	20095	勇払橋の重量規制緩和に向けた安平川改修計画の早期策定(河口部)	B	C	18
	継続	20121	明野南通の6車線化及び、道路の整備	C	C	18
	継続	22004	国道36号線 苫小牧錦岡～白老社台間の中央分離帯設置	C	C	18
	継続	23010	物流車両の安全確保のための整備 市道の管理強化 街路灯の増設(一本松北通)、道路標識の整備、新規設置、街路樹や草木の剪定・伐採	A(緑地、維持) C(港高)	A(緑地、維持) D(港高)	18
	継続	20004	職業訓練法人苫小牧地方職業能力開発協会への協力支援	B	B	19
地域振興 委員会	重点	23018	スマートシティへの拡張性を考慮した駅周辺再整備の推進	C	C	2
	重点	20001	都市再生コンセプトプランと駅周辺ビジョンの実現に向けた事業展開	C	C	2
	重点	20118	新千歳空港駅から苫小牧方面へのアクセス向上 ・JR新千歳空港駅と道南・道東方面の直通化(スルー化)の実現	B	C	4
	新規	26006	ウォークアブルな街づくり推進のための一体的なインフラ整備			2
	継続	20055	勇払前浜広場の整備活用	B	B	16
	継続	23014	津波浸水想定に基づく津波対策の強化(津波危険区域に防潮堤や避難施設等の設置)	B	C	16
	継続	25004	広域連携(周辺自治体、民間企業・団体、自衛隊)による災害等対策体制の構築及び訓練の実施	A	A	16
	継続	20069	新千歳空港の発着枠拡大に対応した受入体制の強化並びに利便性の向上 (2次交通アクセスの充実)	B	C	17
	継続	20070	新千歳空港の滑走路延長の早期実現	B	C	17
	継続	20075	苫小牧東部地域の特性を活かし、苫東GXHUB構想の実現にむけ、「エネルギー・デジタル・フード」を柱とした多彩な産業・プロジェクト誘致への支援	C	C	17
	継続	20077	苫小牧東部地域における食品流通・加工拠点形成への支援	C	C	17
	継続	23013	市道沼ノ端勇払線の安全対策の実施 1. 拡幅整備 2. 路面舗装整備	B	C	18
	継続	25007	市道柏原開拓道1号線および東部2条通の安全対策の実施 ①路面舗装整備 ②拡幅整備(片側2車線化) ③電柱移設(照明灯設置)もしくは街路灯設置	C	C	18
継続	25010	新千歳空港と苫小牧市内を結ぶ道道130号新千歳空港線及び国道36号線の道路整備	C	C	18	
女性会	新規	26006	安心して暮らせるまちづくりのための医療機関への交通利便性の向上			13
	継続	23015	保育・介護環境整備による女性の社会進出推進 介護・保育に関する人材教育支援制度の充実	C(福祉) A(こども育成)	C(福祉) A(こども育成)	19
青年部	新規	26007	駅前本通り街灯スピーカー再稼働のための費用支援と運営事業者の募集			14
	継続	23017	苫小牧市におけるふるさと納税返礼品の拡充	A	A	16
会議所	重点	22002	苫小牧市プレミアム付商品券事業の継続的な実施	A	A	3
	重点	20118	新千歳空港駅から苫小牧方面へのアクセス向上 ・JR新千歳空港駅と道南・道東方面の直通化(スルー化)の実現	B	C	4
	重点	25003	次世代デジタル産業の一大集積地に向けた企業誘致の推進	B	B	7
	重点	20007	1「統合型リゾート(IR)」誘致活動の継続 2北海道らしいIRコンセプトの策定	D	C	8

※会議所 次ページに続く

担当部会	分類	No.	要望項目	回答/ 実現性	回答/ 速度	ページ
会議所	重点	25011	1【国・道】小規模事業指導推進補助金の安定確保 2【国・道】小規模事業指導推進補助金・補助対象職員設置基準の見直し	C	D	9
	継続	20043	日本政策金融公庫苫小牧出張所の支店昇格	B	A	15
	継続	20046	苫小牧市中小企業創業サポート事業への取り組み継続	A	B	15
	継続	23019	市内大規模イベント運営の全面的な民間委託の調査検討	C	C	20



# 苫小牧市への「2026年度商工業振興に関する要望書」提出スケジュール

2024年

2025年

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	備考
要望書作成の動き		部委合同会議 正副会頭会議 常議員会 議員総会 (報告)	要望書提出 (2025年度予算へ反映)				要望書回答着 市と打合せ		各幹事会	各部会		地域振興委員会	部委合同会議 正副会頭会議 常議員会 議員総会 (報告)		要望書最終案承認 要望書の承認 要望書の承認 要望書の承認 要望書の報告 苫小牧市へ要望書提出 第9選挙区支部懇談会 (9月～11月)
市と議会			要望書提出 (2025年度予算)		各課で政策予算作成作業開始		2026年度政策予算サマリーレビュー 予算査定		市長予算編成方針 予算編成作業			市議会予算審議			各課で予算要求の作成が始まる 各課から要求内容のヒアリング 財政部長の査定 市長から方針が示される 予算案の作成
道商連		道商連へ要望事項報告 道南ブロック専務理事会議			道商連全道大会 中央要望										道内4ブロック毎に提出 (道南は各自提出) 広域要望事項のすり合わせ 道商連としての要望事項決議 道商連正副会頭上京、自民本部・中央省庁ほか

行政・政治

政策の実現

政策実行

要望・提言

企業への周知  
企業での実施支援

会員の声を  
集約

苦小牧  
商工会議所

建設業  
部会

製造業  
部会

運輸交通  
部会

商業  
部会

食品飲食物業  
部会

サービス業  
部会

青年部  
女性会



苫小牧商工会議所

The Tomakomai Chamber of Commerce and Industry